

市で一番強いチーム目指し、 みんなで切磋琢磨する日々

神岡剣道スポーツ少年団



昭和43年に設立され、50年以上の歴史を誇る団体です。昨年11月の飛騨市民剣道大会では個人戦、団体戦ともに優勝、準優勝を果たす成績を収めています。

現在の団員は12人。小学1年生5人と2年生1人が今年度新たに加入し、小学4年生から6年生までの高学年4人と中学生2人が一緒に汗を流

しています。

年齢の幅は広いですが、いつも一緒に明るく楽しみながら、真剣に取り組んでいます。週に1回の練習を大切にしようとして、集中して取り組んでいるそうです。高学年の団員はそれぞれが目指す目標に向かって努力し、低学年の団員は稽古に早く慣れて、より強くなれるように一生懸命頑張る日々。まずは、稽古の時に大きな声を出すことをしっかりと心がけています。

「強く、正しく、明るい心で



頑張ろう」が道場訓。「勝つことだけでなく、あいさつなどの礼儀といった、人としての基本を中心に指導しています」と、指導者の一人である井口和美さん。飛騨市スポーツ活動充実交付金を活用して製作した団の手ぬぐいにも「真善美」の文字が染め抜いてあります。「子どもから大人まで一緒に稽古をすることができ、また生涯にわたって鍛錬し続けることができるのが剣道の魅力だと考えています」と話す井口さん。「子どもたちは、みんな優しい子ばかり。一生懸命まじめにやっていますよ」と目を細めていました。

団長としてチームを引っ張るのは、神岡小学校6年生の中島誠也君(12)。チーム評は「みんなが元気で明るくて、剣道が上手」。指導されるだけでなく、もし稽古で間違っている仲間がいたら、上級生が率先して教えながら切磋琢磨しているそうです。



神岡剣道スポーツ少年団の紹介

- 設立/昭和43年11月
- 団員数/12人(令和5年1月現在)
- 練習場/桜ヶ丘体育館2階柔剣道場
- 代表指導者/南敏広さん
- 問合先/南さん090-3250-4157
- 随時お問い合わせください。

チームの目標は「飛騨市で一番強いチームを目指す」。団員それぞれが、大会で一試合でも多く勝つことを目指し、特に大きな声を出すことを大事にしながら日々の練習に臨んでいます。

小学2年生の時に友人に誘われて剣道を始めた中島君。魅力は「自分の心を磨けるところ」だそうです。「剣道が好きなので、中学校へ行っても続けたいです」とまっすぐな目で話していました。